



Ya-Room. com



第8号

2008年7月25日 発行

草加市立中央図書館 <http://www.lib.city.soka.saitama.jp/>

今年もついに夏休みですね！！

今回はアンケートでも要望の多かった妖怪のおはなしをテーマにしてみました。

おもしろそう！と思ったら、ぜひ読んでみてね♪

その他には、夏におすすめの本もあつめてみたのでぜひチェックしてみてください☆☆☆

夏

休みはクーラーのきいた図書館で勉強したい…って考えていることはみんな同じ。座席がすっごく混んでるよ！！どうしても座席をとりたいキミはYa-Room.com 第2号をぜひ見てね♪

今回は詳しく座席のコトを紹介するね。

★ 東側と北側の座席は開館前に玄関で配っている座席券をもらおう。

(8月1日～8月31日まで)

整理券に書いてある番号の席は一日使えるよ。でも30分以上席を離れると他の人に譲る場合もあるので注意。

★ 西側の座席は入替制(社会人優先)

平日	1	9:00～12:00
	2	12:00～16:00
	3	16:00～20:00
日・祝日	1	9:00～12:00
	2	12:00～17:00

1日1回しか予約できないから注意！レファレンスカウンターで受け付けてるよ。座席には限りがあるので(37席)、早めに並んでね。社会人の方には10分前から券を配布しています。

★ YAコーナーの席は、整理券不要！

中高生優先。今までどおりに使ってね。

★ グループ室は単独で。

グループで使う部屋ではないよ。話し声は響くから、静かにしようね。

課題図書

青少年読書感想文全国コンクールのため

の本で、今年は次のとおりです。

YAコーナーに置いてない時は、貸出中なので、予約してね。

★注意★

① 取り置き期間は1週間。

通常は2週間です。うっかりすると、次の人に譲っちゃうから気をつけて！！

② 課題図書は他の本と区別するため、カバーがかかっています。

●中学校の部●

「となりのウチナンチュ」

早見 裕司 作

「曲芸師・ハリドン」

ヤブ・ヴェグリス 作/菱木 晃子 訳

「天馬のように走れ

—聖書・川村驥山物語」

那須田 稔 著

●高等学校の部●

「荷抜け」岡崎 ひでたか 著

「兵士ピースフル」

マイケル・モーパング 著/佐藤見果夢・訳

「オデッセイ号航海記

クジラからのメッセージ」

ロジャー・ペイン 著/宮本 貞雄 訳



夏休みにおすすめの本



なが〜い夏休みにこんな一冊をよんでみてははいかがですか？

図書館員おすすめの本を紹介します！！

ガール ミーツ ボーイ

野中 柊/著 (新潮社/刊)

太郎の様子がおかしい。

夏だから？恋をした？それとも・・・。

母ひとり子ひとりの、賑やかでちょっぴり淋しいひと夏の終わり。

子どもの天国と大人の現実を描く表題作と、書き下ろし短編「ボーイ ミーツ ガール」を収録。

すいかの匂い

江國 香織/著 (新潮社/刊)

内容：すいかの匂い 落子さん 水の輪 海辺の町 弟 あげは蝶 焼却炉 ジャミパン 薔薇のアーチ はるかちゃん 影

誰にも言えない、とてもドキドキしたから。

記憶は次第こうすくなっていくのに、あの夏の記憶だけ、いつまでもおなじあかるさでそこにある。

なつかしい風景の中に鮮やかに描く十一人の少女の夏物語連作短編集。

エイジ

重松 清/著 (新潮社/刊)

友だち、カノジョ、優しい家族に囲まれマジメなぼく、エイジ。

そんな日常の中、ぼくらの街で起こった連続通り魔事件の犯人は、クラスメートだった。

14歳、思春期に揺れるいまどきの「中学生」をリアルに描く。

99年山本周五郎賞受賞

バッテリー

あさの あつこ/著 (角川書店/刊)

そうだ、本気になれよ。本気で向ってこい。

子どもだとか小学生だとか中学生だとか、関係ないこと全部すてて、おれの球だけを見ろよ。

多感な時期を野球に明け暮れて過ごす少年たちを生き生きと描き出す。

シリーズ全6巻。





妖怪



しゃばけ

畠中恵／著（新潮社／刊）

大人気しゃばけシリーズの第一弾！

病弱な大店の若旦那、一太郎はこっそり出掛けた帰りに殺人事件を目撃。一太郎は家族同様の妖怪たちと捜査を開始するが…。

個性豊かな妖怪たちが毎回出てくるこのシリーズは現在6冊出てるよ。7月末には新刊が発売予定！

妖怪パートの幽雅な日常 ①～⑧

香月日輪／著（講談社／刊）

両親を亡くしたタ士は、親戚のいそろう。念願かなって、寮つきの高校に合格したものの、火事で全焼してしまった。やっとのことで、理想的なアパートが見つかった！

家賃ヨシ・日当たりヨシ、風呂・まかないつきの そのアパートの住人は、詩人・画家・女子高生、さらには、妖怪たちととっても個性的。人と妖怪たちの日常と事件。あなたもタ士といっしょに、不思議な妖怪アパートでの暮らしをのぞいてみませんか？

怪談

小泉八雲／著（金の星社／刊）

日本に昔から伝わる妖怪や幽霊などの不思議な伝説を日本研究家でもある小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）がYA世代にも読みやすく、独自の解釈を入れてまとめた古典文学。

耳なし芳一やろくろ首、雪おんな、むじななど17編が収録されています。

聞いた事はあってもお話まではよく知らないというあなた！夏の暑い夜は、こんな怖い話を読んでひんやり涼しくなってみては？

星新一ショートショート
1001 ③

星新一／著（新潮社／刊）

地元の人たちでさえ入らないような山奥。

谷川に沿った夜道を杖をついた老人がひとりトボトボと歩いている。

しばらく行くとただならぬ雰囲気の方がひとり…。

その男の正体は、人間の腕や足を食べ、生きながらえている食人妖怪であった。

運悪く、妖怪とバッタリ出会ってしまった老人。

果たして無事に山をおりることができるのだろうか？



水木しげるの妖怪事典

水木しげる／著（東京堂出版／刊）

古くから民間に言い伝えられている日本の妖怪や怪異にまつわる話を“ゲゲゲの鬼太郎”で独自の妖怪の世界を描いた著者が百枚の絵と百の話でつづった怪異物語。

続編や世界の妖怪、中国の妖怪などを集めた本もあるのでそちらもチェックしてみてね。

北斎妖怪百景

葛飾北斎／著（国書刊行会／刊）

妖怪か、芸術か。

葛飾北斎の妖怪が大集合。

錦絵、肉筆画、読本挿絵、北斎漫画、

化物和本草…、北斎の書きつけた異形のほとんどを収録した妖怪百景。

百鬼夜行絵巻

湯本豪一／著（小学館／刊）

闇夜の国から、不気味な気配を漂わせながら、妖怪たちがしゃしゃり出る…。

大徳寺真珠庵に伝わる最古かつ最高峰の百鬼夜行絵巻の全貌が明らかに。

版本、錦絵、絵本から着物の絵柄にいたるまで、広がる百鬼夜行の世界を紹介しているよ。

図説江戸東京怪異百物語

湯本豪一／著（河出書房新社刊）

置行堀、蛇石、天鷲絨の化け物、

猫の墓、番町皿屋敷…。

江戸・明治の 東京地域に起きた怪

異現象や謎の事件を、錦絵や瓦版、

新聞の挿絵とともに紹介する都市の

伝説全百話。

